

**自然が薫り 絆が生きる 自立するむら！  
みなみやましろ**

**南山城村第4次総合計画**



はじめに

本村では、これまで第3次総合計画に基づき、「自然が薫り、人が輝く 元気むら！みなみやましろ」の実現にむけて、村政運営を進めてまいりました。

この間、地方行政を取り巻く状況は変動し続け、右肩上がりに財政収入が得られた時代とは異なり、これまで以上に効率的な行財政運営と発想の転換が必要となっています。また、少子高齢化・人口減少、国際化・高度情報化、地球規模での環境変化といった社会情勢に対応するべく、英知と力を集結し、豊かな「自然」と心豊かな人の「絆」とで魅力と活力のある村を目指していきたくと考えています。国内では平成23年3月11日に東日本大震災という日本が経験したことがないような未曾有の複合災害が起り、被災地はもとより日本全土に大きな影響をもたらしました。また全国では様々な自然災害が各地に甚大な被害をもたらし、防災対策の重要性を再認識し、そのあり方や体制について早急に見直しが求められています。

このような時代を背景に、今後10年間の方向性を示す「第4次総合計画」を策定いたしました。村民と行政がともに達成に向けて取り組む目標として設定したものであり、この10年間に何をなすべきか、何が実現可能なのかということを中心に置いて構想を取りまとめました。専門的知識を有するコンサルティング会社等に外部発注して取りまとめていたこれまでのやり方を改め、村役場の将来を担う「魅力ある村づくりプロジェクトチーム」の職員を中心に「総合計画策定協議会」を設置して作成しております。

行政の継続という意味からも第3次総合計画を土台にして現状を分析し、村民アンケートの結果を踏まえ、今後10年間の村が進むべき方向性を示すことを第一として、多くの議論を重ねて取りまとめたものです。

村の基幹産業である「お茶」の価格低迷や後継者の減少など村を取り巻く環境は、少子高齢化と共に厳しさを増す財政環境の中である今こそ、着実な事業の推進と、将来を見据えた重点的な投資が必要であると考えます。福祉・医療・教育・防災・環境など、村民の皆様が望む施策を着実に進め「村で暮らし続ける」ために、誰もが望む生き方ができるむらづくりに努めてまいりますので、村民の皆様にはむらづくりの主役として、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この総合計画の策定にあたり、数多くの貴重なご意見をいただきました村民の皆様に対しまして、心からお礼申し上げます。

南山城村長

舟仲 圓春

# 南山城村第4次総合計画

<b>南山城村第4次総合計画の策定にあたって</b>	第1節 総合計画の役割と意義 .....	3
	第2節 計画の期間 .....	3
<b>第1章 むらづくりの取り組みに向けて</b>	第1節 時代の潮流への対応 .....	4
	第2節 南山城村の特性を活かす .....	8
	第3節 住民意向の反映 .....	9
<b>第2章 むらづくりの目標</b>	第1節 むらづくりの目標 .....	25
	第2節 将来人口 .....	27
<b>第3章 施策の大綱</b>	第1節 夢と希望が持てる魅力あるむらをめざして .....	29
	第2節 多彩な人が多彩な文化を創造するむらをめざして .....	30
	第3節 安心・安全な暮らしを地域で支え合うむらをめざして .....	31
	第4節 産業が明日を切り拓く元気むらをめざして .....	32
	第5節 行財政の確立 .....	33
<b>第4章 魅力あるむらづくりプロジェクト</b>	第1節 村で暮らし続けるための「産業再生」プロジェクト .....	34
	第2節 村で暮らし続けるための「絆づくり」プロジェクト .....	35
	第3節 村で暮らし続けるための「次世代担い手育成」プロジェクト .....	36
	第4節 村で暮らし続けるための「南山城村保全」プロジェクト .....	37
<b>資料編</b>	むらづくりアンケート調査結果 .....	38